

# 避難情報を正しく理解しましょう

市区町村や気象庁から発表される5段階の警戒レベルと避難情報の意味を正しく理解して、逃げ遅れることのない安全な避難行動に生かしましょう。

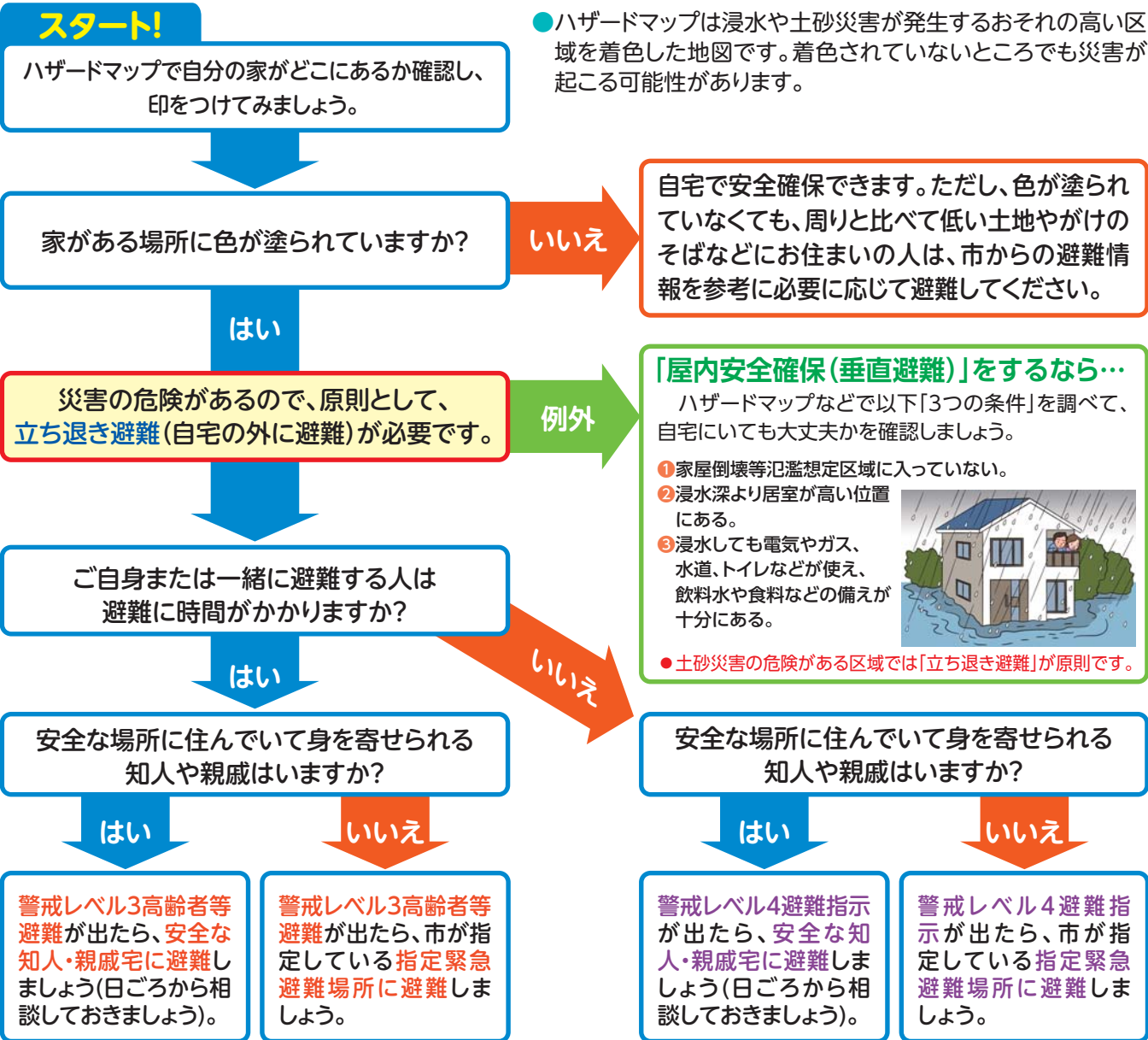
## 避難の目安となる5段階の警戒レベル

警戒レベル	状況	避難情報等	警戒レベル相当情報
警戒レベル <b>5</b>	●災害発生または切迫 	<b>緊急安全確保 (大分市が発令)</b> <b>命の危険 直ちに安全確保!</b> 災害が発生、またはまさに発生しようとしている場合、少しでも浸水しにくい高い場所への移動やがけから少しでも離れた部屋への退避、近くの堅固な建物への移動など緊急に安全を確保するようにします。 <small>(緊急速報メールで発信)</small>	●大雨特別警報 (浸水害) ●大雨特別警報 (土砂災害) ●氾濫発生情報 ●高潮氾濫情報 など
~~~~~ <b>〈警戒レベル4までに必ず避難!〉</b> ~~~~~			
警戒レベル <b>4</b>	●災害のおそれ高い 	<b>避難指示 (大分市が発令)</b> <b>危険な場所から全員避難</b> 警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。 <small>(緊急速報メールで発信)</small>	●氾濫危険情報 ●土砂災害警戒情報 など
警戒レベル <b>3</b>	●災害のおそれあり 	<b>高齢者等避難 (大分市が発令)</b> <b>危険な場所から高齢者等は避難</b> 避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人とその支援者などは、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。 <small>(緊急速報メールで発信)</small>	●氾濫警戒情報 ●大雨警報 (土砂災害) など
警戒レベル <b>2</b>	●気象状況悪化 	<b>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁が発表)</b> ハザードマップなどで自らの避難行動を確認しておきましょう。	●氾濫注意情報 など
警戒レベル <b>1</b>	●今後気象状況悪化のおそれ 	<b>早期注意情報 (気象庁が発表)</b> 最新の防災気象情報などに注意して、災害への心構えを高めましょう。	

「警戒レベル相当情報」とは……警戒レベル相当情報は、国土交通省、気象庁、都道府県などが発表します。

## いざというときのために確認しておきましょう

### 避難行動判定フロー あなたがとるべき避難行動は?



## 避難は難を避けること

避難は難を避けることです。指定された避難場所や安全な知人・親戚宅に避難する「立ち退き避難」が基本ですが、安全な場所にいる人は避難場所に行く必要はありません。(今いる建物内で安全を確保する「屋内安全確保」)。危険を避けるにあたっては、普段からハザードマップを利用して、自宅やその周辺の災害を確認しておき、いざというとき、誰とどこにどのように避難するのか家族で話し合い、マイ・タイムラインを作成しておきましょう。

また、宿泊費が必要になりますが、安全なホテルや旅館への避難も可能です。

●ハザードマップで避難先が安全かどうかを確認しましょう。

